

■ そう思う ■ どちらかといえば、そう思う ■ どちらかといえば、そう思わない ■ そう思わない ■ 無回答

①豊かな心をはぐくむ教育の推進

| | | |
|--|---|--|
| <h4>1 一人一人の児童生徒の尊重</h4> <p>学校は、一人一人の子どもを大切にしたい指導や対応ができていますか。</p> | <h4>2 友達への思いやり</h4> <p>子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。</p> | <h4>3 道徳・心の教育の充実</h4> <p>学校は、豊かな人間性を育む心の教育の充実に努めていると思いますか。（礼儀、生命尊重、思いやりなど）</p> |
|--|---|--|

(分析) 一人一人に応じた指導および「あそび運動」について、ともに、前年度を上回っており、取り組みの成果が見られる。
 (改善策) 一人ひとりの課題については、毎週開催の「子どもを語る会」など、全職員で情報を共有するとともに対策について確認する場を設けており、充実した取組を行っている。また、「あそび運動」についても、児童の自主性を伸ばしながら委員会活動や集会等で取り組んでおり、少しずつ効果が表れており、継続して取り組みたい。また、家庭や地域への発信についてもあらゆる機会を通して行ってきたい。本校には、特別支援学級在籍の児童以外にも支援を必要とする児童が多数在籍している。引き続き、学級支援員の配置が必要である。

②確かな学力を育む教育の推進

| | | |
|---|--|---|
| <h4>4 意欲的な学習態度</h4> <p>子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。</p> | <h4>5 授業力向上</h4> <p>先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。</p> | <h4>6 ICT活用</h4> <p>先生方は、ICT機器を活用してわかりやすい授業づくりに努めていると思いますか。</p> |
|---|--|---|

(分析) 教師の授業に対する努力に対して、児童と保護者が共に高い評価をしている。これは、児童の実態を踏まえた授業の工夫や日常のきめ細かい指導の成果と考えられる。
 (改善策) 今後も積極的な研修への取組や児童の実態に合った指導法の工夫に努めていかなければならない。
 (分析) 算数については、全学年での向上が見られ、特に5年生の伸びが顕著である。ただし、算数に比べ国語の落ち込みが見られる。
 (改善策) 算数では、ITや少人数の形態を工夫するなど、より効果的な活用方法についてさらに研究が必要がある。国語に関しては、「読む」「書く」などの基礎的な力の定着が必要である。また、学び方の指導を進め、自ら学ぶ意欲を高めることも大切である。また、本校の実態からして、少人数やITは不可欠である。加配の継続を希望する。

③健やかな体を育む教育の推進

7 健康づくり

子どもは、好き嫌いをなく食事をし適度な運動と十分な睡眠に気をつけて生活していると思いますか。

(分析) 学校が家庭の状況をすべて把握しているとは言い難いが、運動の人数や朝の様子などを見れば、全ての児童がリズムの整った生活を送っているとは判断することは難しい。
 (改善策) 家庭や地域との連携を図りながら、児童の生活改善に取り組んでいきたい。

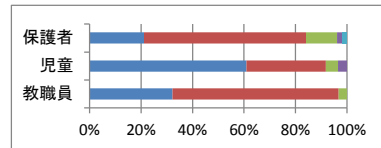
| | |
|--|--|
| <h3 style="text-align: center;">①いじめ不登校などに対する相談支援体制の充実</h3> <h4>8 児童生徒理解</h4> <p>先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようと努めていると思いますか。</p> <p>(分析) 保護者・児童と教職員の評価の差が見られ、学校の取り組みが十分に伝わっていないところがある。 (改善策) 今後も、アンテナを高くし、児童理解に努めるとともに、保護者や児童に、気づいたよさを伝え、自尊感情を高める取組を進めていきたい。</p> | <h3 style="text-align: center;">②特別支援教育の推進</h3> <h4>9 いじめや問題への対応</h4> <p>学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。</p> <p>(分析) いじめや問題に対しては、即時対応を心がけ早期の解決に努力をしている。しかし、教職員と保護者の評価に差が見られることから、保護者への連絡や説明が不十分であると考えられる。 (改善策) 事案に対しては、事実の確認後、早急に保護者へ伝え、解決へ向けての協力と理解を得るとともに、</p> |
| <h4>10 学校の支援体制</h4> <p>学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。</p> <p>(分析) 毎週共通理解の時間を設定しながら特別支援コーディネーターを中心に取り組んでいるところであるが、児童の状況も多岐に渡っているため対応が厳しい面もある。 (改善策) 人的環境を整備するとともに、組織的な支援体制の整備に努めたい。</p> | |

| | |
|---|--|
| <h3 style="text-align: center;">①子どもたちの身近な安全対策の充実</h3> <h4>11 安全と事故防止</h4> <p>学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。</p> <p>(分析) 3者とも安全教育が不十分であると捉えている割合が1割になっており、早急な対策が必要である。 (改善策) 今後も家庭や地域と協力しながら、さまざまな災害・事故に他する子ども達の意識と対応力を高め、安全・安心の確保に努めたい。</p> | <h3 style="text-align: center;">②最適な学習環境の整備</h3> <h4>12 施設・設備の安全管理</h4> <p>学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。</p> <p>(分析) 本年度は、地震の関係もありより細やかに安全点検を行った。しかし、十分に改善されていないところもあり、来年度の課題である。 (改善策) 修繕箇所等について全職員に共通理解するとともに、</p> |
|---|--|

③家庭・地域社会との連携強化

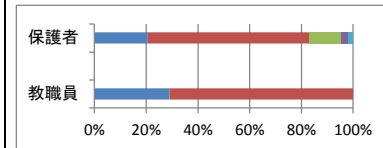
13 教育方針・目標の理解

学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。



14 家庭や地域との連携協力

d子どもは、「あ・そう・だ」運動を実践していると思いますか。

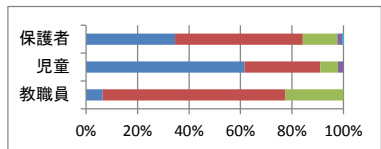


(分析) 学校と家庭の共有する課題として基本的な生活習慣の定着を掲げている。朝食については改善の傾向にあるが、遅刻については引き続き取組が必要である。
 (改善策) 家庭に対しては懇談会や通信等を通じて情報を発信し協力を求め、児童に対しては、基本的な生活習慣に対する意識を高められるよう取り組んでいきたい。
 (分析) 地域との連携については、夏祭りやどんどやなど地域の行事に積極的に参加し協力している。また、老人会や福祉施設の協力を得ての授業にも取り組んでいる。また、震災時には、自治会と協力して避難所の運営を行うことができた。
 (改善策) 今後も、取組を継続し、さらに連携を深めたい。

⑧本校の教育

15 「あ・そう・だ」運動(あいさつ・そつじ・だれとでまなかよく)の徹底

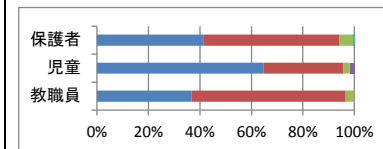
d子どもは、「あ・そう・だ」運動を実践していると思いますか。



(分析) 児童会での取り組みや学期ごとの振り返りにより、昨年度より児童や職員の意識が高まった。しかし、児童に比べ、保護者や教職員の客観的な評価が低い。
 (改善策) 委員会活動などを通して、「あ・そう・だ」運動にたいする子ども達の意識をさらに高め、あらゆる場面

16 2授業改善の取組

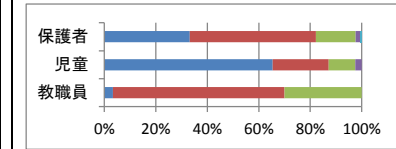
d学校は、授業改善の取組に力を入れていると思いますか。



(分析) 3者とも概ね高い評価になっているが保護者や児童の中には厳しい見方もある。
 (改善策) 児童一人ひとりを伸ばすための授業作りの努力がさらに必要である。

17 3基本的な生活習慣と体力の向上

d子どもが、「早寝・早起き・朝ごはん」ができ、自分にあった体力づくりに取り組んでいると思いますか。



(分析) 基本的な生活習慣について、教職員は厳しい見方をしており、危機感を抱いている。
 (改善策) 健全な育ちのために、学校と家庭が連携して基本的な生活習慣の確立に努めていかなければならない。

来年度の具体的な取り組みについて

【本年度の主な取組】

○学校通信等で、家庭や地域への情報発信を行うことができた。

【来年度の取組】

- 保護者や地域に対して「あ・そう・だ」運動についての情報を発信することで、取組に対する理解と協力を得る。また、子ども達に対しては、指導を徹底するとともに委員会活動などを通して自主的に行動できるよう意識を高める。
- わかりやすい授業づくりのために授業改善の努力を続けていくとともに、厳しい状況の子どもについては個に応じた学習のさらなる徹底を図っていく。
- 基本的な生活習慣の確立については、子ども達への啓発とともに保護者や学校保健委員会等と連携しながらさらに進める。特に、朝食については、食育を通して子ども達の意識を高める取組を継続して行う。
- 自治会や「まちづくり委員会」等、地域の協力を得ながら、地域に根ざした教育を充実させる。
- 手洗い・うがいなど、心身共に健康な生活を送れるように、病気の予防に努め、健康な体作りに努める。
- 新学力テストや全国学力状況調査を受けて、より児童の学力を分析し、きめ細かな指導の工夫改善に努める。
- 不登校対策委員会を立ち上げ、早期対応にこころがける。

学校関係者評価

- 授業改善については、授業参観等を通して授業の工夫や努力が子ども達の学力を伸ばしていることが実感できた。
- 遅刻等生活の問題については、第1の責任者である保護者の意識改革と取り組みが不可欠である。
- 課題を持った子どもに対しての支援体制が整っているので、今後さらに充実してもらいたい。
- 震災時には、学校職員に協力してもらい感謝している。今後も、防災対応については学校と地域が協力して取り組む必要がある。